

町
報

よぶこ

発行／呼子町 編集／企画課・印刷／唐津印刷有限会社

町 勢

昭和48年 6月末現在
住民基本台帳による

人口 男 3,681人

女 4,054人

計 7,735人

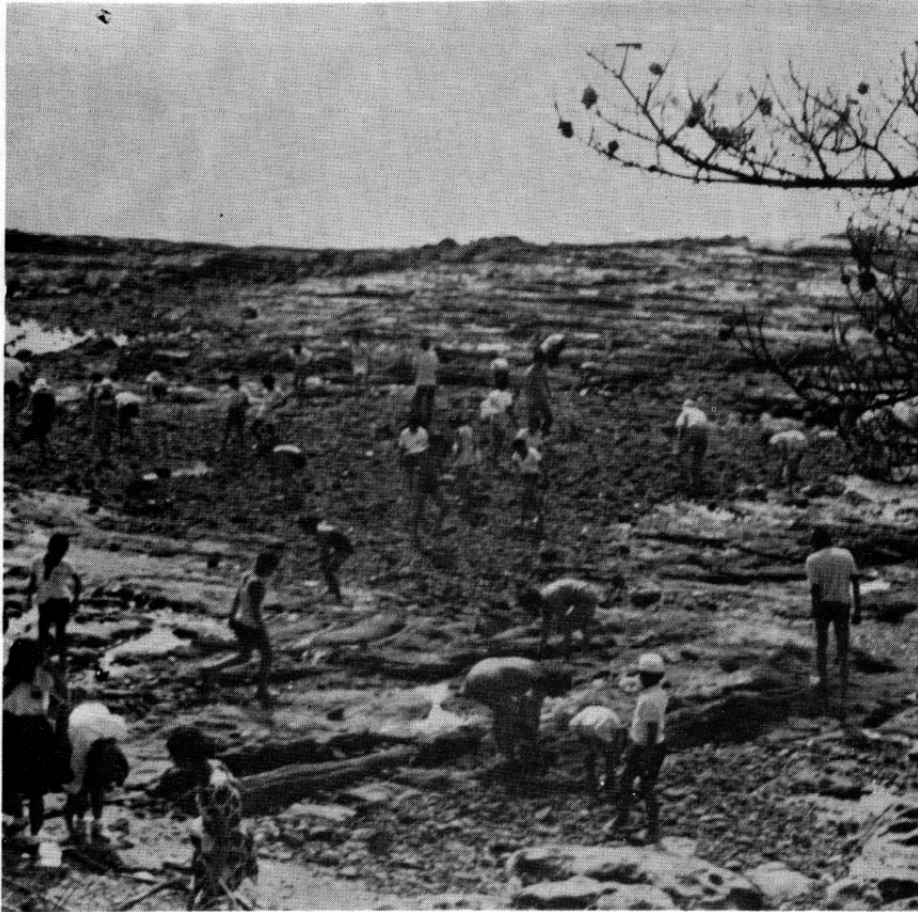
世帯数 1,996世帯

一戸平均 3.88人

観光週間

8月1日～7日

美しい海をいつまでも



▲弁天島にて宝さがし

弁天祭にぎあう

7月16日（旧6月16日）は、呼子観光のトレードマーク弁天島で、殿の浦各区、青年団支部、婦人会支部のお骨折りで盛大に開催されました。行事は、神事と、宝さがし、ビール、ジュースの早飲大会夜の『のど自慢大会』とスケジュールも豊富、夜8時からの『のど自慢大会』は新屋旅館駐車場が会場、老いも若いも、みんなそろって殿の浦総出の大にぎわいでした。ちなみに、日本で、弁天の祠（ほこら）が多く水辺にあるのは、もと河川神であったことに由来するようです。古来、近江（滋賀県）の竹生島、相模（神奈川県）の江の島、安芸（広島県）の厳島、陸前（宮城県）の金華山、大和（奈良県）の天の川を五弁天と云っています。また七福神の一つとしても、もっぱら福德財宝の神さまとして崇拝されました。

呼子の弁天さんは、厳島弁天の支社です。

議会通信

町議会六月の定例会は二十六日に招集され会期四日の審議が行なわれました。

一般質問（通告順）

- 1 役場職員増員について
- (イ) 社会福祉関係業務が年々激増し事務量が增大している。
- (ロ) 教育委員会の社会教育関係公民館活動の推進が出来ないのは、職員の不足によるのではないかと学校教育が週五日制となれば社会教育に更に重点をおかねばならないように思われる。
- 2 愛宕町川岸下の白濁りについて
- 3 片島二軒屋一番先の道路を町道に編入してもらいたい。
- 4 原子力発電所設置に対する町の基本的処置について。

このことに付ては町民の中に安全・危険の両論あり、私共は非常に危険と存じているが町としては企業側に立った意見でなく町民の生命を守る意味に於ての処置対策を示して頂きたい。

- 5 出納室の金銭支払時間延長について
- 6 海岸道路荷揚場監督について
- 7 庁舎について
- 8 建設事業推進について
- 9 個人自動車の使用について。

町長の答弁

一 福祉関係でもその他の仕事も、

行政簡素化とは言いながら事務面では一般的に複雑化の傾向にあるのは事実です。

今までは職員に対して給与面は出来るだけ押えて建設的な方にお金を廻すといった方針でありましたが、現在の世状から見ても

労働に対する賃金は妥当な額を支給するべきだと考えをあらため、漸次その方向に努力をしています。そして仕事も十分にやってもらおうと思っています。学校の五日制については、まだ日本に定着しておらず、これから研究されてゆく問題だと報じられているようであります。質問の主旨は充分お受けして今後の参考といたします。

二 天満町の海岸から奥の方にかけて、漁業用釣餌の「エビ」が生きない。生かしている魚も早く死ぬという指摘は前からあり、地域の住民業者とも度々話合いも重ねております。皆様の理解と協力によってきれいな海を保つように今後も話合いを進めてゆきたいと思っています。

三 二軒屋の道路については土地の所有者の関係もあって、未解決のままのびのびになっておりますが計画の気持は充分もっております。

四 反対か賛成かはっきり意志を決定している訳ではなくまだ勉強している段階であります。

五 役場の金銭支払は、請求書が提出された都度収入役の方で直ちに

に支払うのが一番良いのですが事務手続きの関係で週のうち定めた日に支払をやっています。

役場にはなるべく現金を置かないようにしている立前上、銀行が閉まる前までにはしめきっております。

六 海岸道路といっても大体物揚場として造ったものですが、道路としても使えるし車も通りますお互いに荷物も揚げれば車も通る状態です。荷物の長期放置は良心に訴えて他に迷惑のからぬようにしてもらいたいし、又指導もしてゆくつもりです。

七 庁舎の件は二・三年前に真剣に考えましたが、その後鎮西町と合併の話が出たため、そのままだなりました。おっしゃる通り部屋も狭く、来客との応対も充分出来ない様な状態ですが全然事務がされない事もありません。しかし追々その様な事も考えなければならぬ時期に来ているとは考えております。

八 事業の推進につきましては、おおせの通りおこなっております。四十七年度事業は御承知の通り特殊な事情（セメント不足等）がありましたが、その処置については法的な手続きには反しないようにやっております。

九 職員の個人の自動車使用に對しましては、強制保険の外に八百万円以上の任意保険に加入しな

ければ自家用車で公用出張等を認めないことにしています。職は皆な一千万円以上に加算しているようです。又出来るだけ公用車を利用する様に指導しております。

以上のような答弁がありました。次いで提出議案の審議に移り、町道路線の廃止と認定。廃止されたのは「横竹小友線」でこれは次に認定された「呼子環状線」に含まれます。認定は呼子環状線・持山線・先方岡線・坊山線であり

ます。

○公有水面埋立願に対する意見について、二件。

殿ノ浦の小林さんと山口さんの処で、数年前から度々話合いが行なわれてきており、最終的に知事に対する諮問の答申が追認のかたちで提出されたものです。

○公有水面埋立によって、新たに生じた土地の確認について。

これは物揚場等の造成により、埋立てられた海岸に生じた新たな土地を本町の地区内に造成された土地であることを確認するための議案であります。

○人権擁護委員候補者の推選について。

中町の来司千代さんが新らしく人権擁護委員になられました。

○過疎地域振興計画変更について時勢の移り変りに対応して一部変更されております。

○高齢者の医療費助成に関する条例の一部改正。

回覧等でお知らせしてあります。通りの改正がなされました。

○町税条例の一部改正。国の法律に基いて町税条例の一部が改正されました。

○呼子町国民健康保険条例の一部を改正する条例。

保険税が引上になりました。これもすでにチラシ等で御承知の通りであります。

○呼子町港湾使用料条例の一部を改正する条例。

フェリボートの「けい船料」として今まで一回ごとに総トン数一トン毎に一円二〇銭であったものを、県と二分するあたちで、呼子の取り分を六〇銭とすることになったものです。

○国民宿舎条例の一部改正について。

四十六年六月全国一律に大人一泊千五百円、中学生千三百円、小学生千五百円に決められていたものが、今般の引上で大人千九百円、中学生千七百円、小学生千四百円になりました。

○一般会計、特別会計補正予算。一般会計は四千二百五十三万四千円の追加で総額七億六千四百四十八万三千円となりました。

○玄海沿岸漁業者救済に関する意見書の提出について。

最後に議員提出の議案として、国県関係官公庁に意見書として提出する標語の議案が出されました。内容は、(一)玄海海産物の安全宣言(二)水産物の汚染度に関する検

海に入った山笠（小友漁港）



七月十三日、十四日の両日に亘って行なわれました。漁村夏祭の花形、小友祇園祭は「海を渡る祇園山笠」として、県外、県内のマスコミにも騒がれクローズアップされております。

この祭りには大人山笠と子供山笠の二台がお目見えしました。今年の大人山笠は「源平盛衰記大物ケ浦」の場面と、「恵比須鯛釣り」が飾りつけられました。高さ10

海を渡る祇園山笠

※議会通信つづき

査制度の確立と的確な情報の伝達
(三)制度融資の延納。(四)融資資金の
利子補給率の引上げ。(五)魚価暴落
に対する被害額の補償。

以上の議案は慎重な審議により
全議案が可決となり二十九日に閉
会が宣せられ、六月の定例会は全
部終了いたしました。

り、重さ三千鈴の豪華な飾り山笠
で、この山笠をかつぐようになっ
たのは万治元年頃からで、それ以
前から祇園祭は行われて居ました
が、おみこしをかついでいたそう
です。「アラサツサイ、アラサツ
サイ」と掛声も勇ましく、ねじり
ハチ巻にそろうのハッピ姿、一カ
月前から「みそぎ」で身を清めた
五十人の若い衆によって、鐘と太
鼓の「山ばやし」で町内を練り歩

呼子町 8 月潮汐表

日	曜	旧 暦		高 潮				低 潮			
		月 日	月	午 前	午 後	時刻	潮 高	時刻	前 時刻	時刻	潮 高
1	水	8-3		10.40	250	11.18	226	4.33	59	5.11	31
2	木	4	E	11.21	237	※	※	5.16	60	5.43	48
3	金	5		11.49	220	0.00	217	5.58	64	6.11	67
4	土	6		0.20	214	0.40	196	6.41	73	6.36	87
5	日	7		0.50	206	1.25	174	7.28	84	7.02	104
6	月	8	☾	1.23	196	4.23	156	8.30	95	7.35	119
7	火	9		2.05	187	4.05	144	10.00	102	8.41	131
8	水	10		3.08	178	6.42	149	※	※	11.47 10.31	98 135
9	木	11	S A	4.53	177	7.29	163	※	※	0.55	87
10	金	12		6.26	186	8.02	175	0.04	128	1.37	73
11	土	13		7.20	199	8.31	188	1.02	115	2.12	63
12	日	14		8.02	212	8.59	199	1.46	103	2.42	53
13	月	15		8.38	224	9.28	209	2.25	91	3.11	45
14	火	16	○	9.13	233	9.55	216	3.01	80	3.39	42
15	水	17		9.41	237	10.23	221	3.35	72	4.07	42
16	木	18	E	10.21	238	10.49	224	4.09	67	4.34	47
17	金	19		10.56	233	11.16	225	4.42	64	5.00	58
18	土	20		11.32	221	※	※	5.16	65	5.21	69
19	日	21		11.43	222	0.13	207	5.55	68	5.57	84
20	月	22		0.14	218	1.02	188	6.43	74	6.81	102
21	火	23	☾	0.53	212	2.11	170	7.50	83	7.21	117
22	水	24		1.47	202	4.05	158	9.27	87	9.00	130
23	木	25	N	3.11	196	6.09	168	11.17	79	10.50	129
24	金	26		3.06	198	7.11	184	※	※	0.36	63
25	土	27	P	6.32	214	7.53	199	0.16	114	1.31	46
26	日	28		7.31	233	8.30	213	1.16	96	2.16	34
27	月	29		8.20	246	9.36	224	2.06	77	2.56	28
28	火	9-1	●	9.04	253	9.38	232	2.50	61	3.31	29
29	水	2	E	9.43	253	10.10	236	3.31	49	4.04	36
30	木	3		10.21	246	10.42	235	4.11	44	4.33	46
31	金	4		10.58	233	11.07	232	4.49	45	4.59	61

●赤道上 ※その欄に相当する潮候の存在しないことを示す
○朔 ☾上弦 ○望 ☾下弦 A遠地点 P近地点 S最南 N最北

るき、最後に身を清めるため小友
海岸から、ザボンと首まで海に浸
って練ります。山笠が左、右に大
きく揺れ傾くと、山笠を支える八
本の綱を小若衆たちが力強く引つ
張って支えます。こうして二日間
豪壮な海の祭典がつづけられまし
た。

小友は神功皇后の伝説がある漁

村ですが、昔コレラが流行したお
り、厄病退散のゴヘイをかつぎ回
ったのが、この山笠の始まりにな
ったと伝えられています。
また、各家では長生を願った
「長タゴ」（小麦粉と小豆アンで
作った長型のだんご）を作り、特
に厄年に当たる主婦のおられる家
では、三十才以上もあるものを作

って友人に配る、風習も残されて
います。
小友の部落にとって祇園祭は正
月、お盆より大事にされている最
大の行事であって、小友に育ち、
遠くに就職している若者たちも、
この日は帰って来られます。

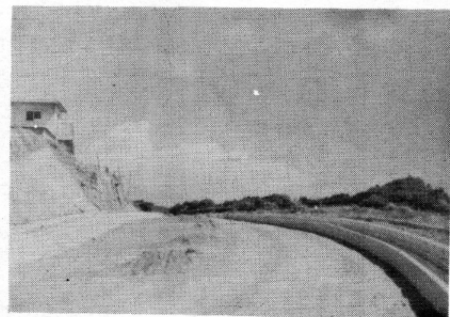
消費生活懇談会開催

7月16日体育館に於て、婦人会代表45名、商工会会長外20名、係員10名になる消費生活懇談会が開かれました。午前中は卓球室で次の5分科会に分かれて問題を出しました。食品、衣料、電気器具、その他、離島消費等です。これらの中から各二つの問題を提出いただき、午後の全体討議にうつりました。生活に密着した問題だけに、色々な面から家庭の主婦としての素朴な疑問、又専門的な質問も出され、それぞれ県係官、町当局、商工会、業者からくわし

く親切丁寧に説明答弁がなされ、その熱心さに司会の浦丸主事も、時間と合わせるのが大変でした。最後に商工会長が、「本日の問題については専門的な二、三の意見については商工会において研究協議し、後日お答え致します。尚商工会の方でも会員共々充分研究を続けて行きたいと思えますし、皆様方も商店街の利用に御協力下さい」と結ばれました。尚主催者の県民室でも「今日の様に活発に、明るく話しあえる会をこの後も続けて行きたい」との

ことでした。

(商工観光課)



▲農協養豚場上

延び行く町道 呼子環状東線

持山から呼子フェリーに至る町道の内、川端町藤井氏宅前より、農協養豚場上まで六百八十メートル、幅員12メートル(車道9メートル、歩道両側1.5メートル)が道路の改良、陸橋の取り替えも終つていよいよ舗装をまづばかりとなりました。現在呼子フェリーからの車は殆んど海岸道路を走っていますので、この道路が完成すれば海岸道路を走る車の量も少くなるでしょうし、交通安全の上からも舗装終了が待たれていました。

呼子小学校本校舎 青写真準備中(計画)

青写真準備中(計画)

呼子小学校は47年度に体育館を完成、昭和48年度には本校舎の建設に取りかかることになりました。設計図は、今まで体育館や、呼子ロッジを設計されました、岡田の場設計事務所の手によって作成をいそがせています。

計画では、新しい体育館の前に出入口を南に向けて鉄筋コンクリート3階建て延床面積二千百十八平方メートル、普通教室18室、水洗便所観測室等があり、青写真が出来上り次第工事は始められます。



▲文化財調査(田島神社)

加部島・小川島文化財 総合調査行なわる

7月24日より3日間、県教育庁文化課主催になる、玄海離島第一次文化財総合調査が始められ、加部島、小川島の文化財について、考古班、歴史班、民俗班、生物班の各専門調査員(合計9名)の手によって、それぞれの調査が行な

われました。小川島の鯨見小屋、加部島ひさご塚出土品等、調査員の方も文化財の豊富さに、大変いそがしうでした。それぞれの結果は県の文化課の方で取りまとめられた上、次の研究段階に進まれるそうです。

▶消費生活懇談会会場



7月22日午前10時、海洋少年団主催による、「海の記念日」の式典が多くのお客さんと、父兄の方々を迎え開かれました。現在の団員は54名(内女子8名)で県下に二つしかありません。この日新団員として、団員証の交付を受けた人が17名、亦それぞれの技能による技能章の交付も行なわれました。その後町長さんから「日本もまわりが海で、呼子も昔から海のまちでした。海のようなひろびろとした心を心として、明るく、すこやかに団活動に励まれ、成長さ

海の記念日

海洋少年団パレード

れることを祈っております」とお祝いのことがありました。式典の後、わざわざ福岡から来てくれた先輩、福岡海洋少年団(50名)の皆さんや、唐津鉄工所吹奏楽団の皆さん達と共に町内パレードにうつりました。フェリー基地より町内を行進、途中あざやかな手旗操作を披露しながらパレードを終りました。

団員の引きしまった顔、その眼の中にきらきら輝く、決意、とちかいを感しました。

▶松浦町にて



▶手旗操作



花火の正しい遊び方

花火を使う季節になりました。花火は子供が一番楽しみにしていることのひとつです。しかし取り扱いによっては、火災発生の原因になり危険がともない事故になりますので、つぎのことがらを守って楽しく遊んでください。

◎花火を人や家に向けたり、もえやすい物のある場所では遊ばないようにしましょう。

◎たくさん花火に一度に火をつけないようにしましょう。

▲愛宕町埋立地に行く



◎花火遊びをするときはかならず大人が見ているところでしましょう。かくれて遊んではだめです。

◎風の強い時は花火遊びはやめましょう。

◎水を用意しておきましょう。

火が消えた花火をそのたびに水につけると完全に消えます。必ずあとしまつに気をつけましょう。

◎吹出し、打あけなど筒もの花火

子どもクラブ夏休行事

早朝ソフトボール大会

たのしい夏休みの行事の一つとして、各子どもクラブ対抗のソフトボール大会が、今年も7月30日早朝6時30分より、呼子中学校グラウンドに17チームが参加して、A・Bのパートに分けられて開始されました。朝の爽やかな気分の中に試合はすすめられましたが、練習で真黒に日やけた元気な子どもたちが、白球を追って大熱戦を展開。日頃指導してこられたコーチの先輩や、指導員の父兄も、後半の夏の暑さなんのその、声をからして大応援でした。

は途中で火が消えても筒をのぞいてはいけません。

◎花火をポケットなどに入れてはいけません。

まさつで発火したり、ころんで発火するものなどがありますのでけがをします。絶対に入れてはいけません。

◎花火大会などで不発煙火を拾って、いたずらするとあぶないから分解などをしてはいけません

唐津・東松浦広域市町村圏組合消防本部・消防署



成績は次のとおりです。

一位 釣町小倉町子どもクラブ

二位 仲よし(愛宕下)子どもクラブ

三位 先方町子どもクラブ

四位 杉の子(宮ノ町)子どもクラブ

尚、夏休行事予定は

8月7日上場四町ソフト大会
8月8日親子水泳大会
8月19日子ども相撲大会
体協、PTA共催

台風シーズンです

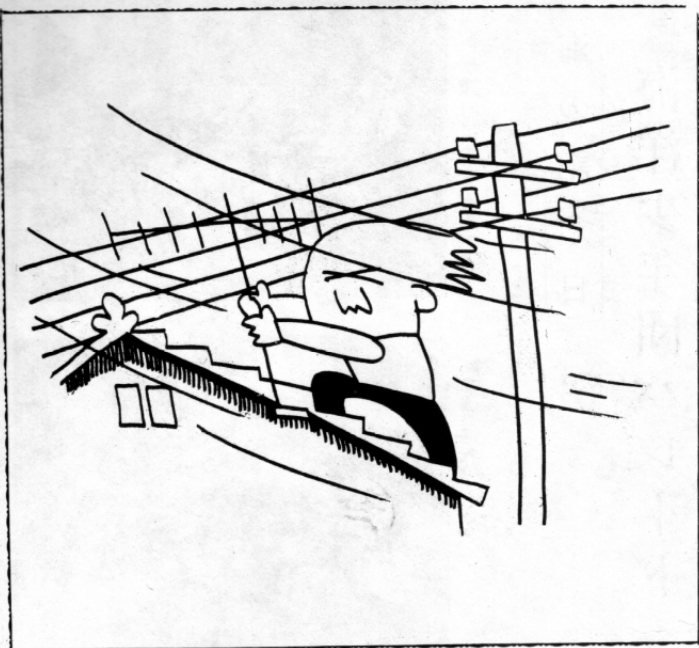
八月、九月は台風のシーズン。安易に考えてあとで後悔しないように、台風情報に注意して防災準備は早目にいたしましょう。九州電力からはとくにつぎのことをお願いします。

(台風前に)

●テレビアンテナ、煙突、看板などは風で倒れないようにし

っかり取りつけましょう。倒れて電線を切ると大へん危険です。

●樹木や雨どい、看板の支線など電線にふれているところはないでしょうか。これも風で電線を切ることがあり危険です。このような箇所がありましたら九州電力へご連絡ください。



(台風後)

●切れた電線や低くたれさがっている電線にはさわらないですぐ九州電力へご連絡ください。

三歳児検診

8月24日午後1時より2時まで対象は44・7・11・45・6・30日の間に生れた3才児
予定は86名
場所 社会体育館卓球室

行政相談所開設

とき 8月23日午前10時午後3時

ところ 社会体育館和室
担当者 行政相談委員

来司 喬
佐賀行政監察局

西山 副監察官

役場の仕事等で▽テキパキやつてもらえない。▽不親切なめにあった。▽どうしてよいかわからない。▽どうにかしてもらいたい。というような苦情のある方は、気軽に相談下さい。

明路
六月末
現在

お誕生

彦坂 知恵(時男長女) 釣町

高砂や

深川 博美(功長女) 中町
松田 圭希(秀次二女) "
江口 政和(義勝二男) 愛宕町
太田 城司(忠男長男) "
中山 恵子(徹長女) "
西 正恵(嘉一長女) 加部島
石川 美波(捷治長女) 小川島

おくやみ

井上 忠(大友)
中山久美子(肥前町)
浜口 キヨ 70才 川端町
前田 カメ 82才 小川島

帆船の並ぶ昔の呼子港(坊山公園より)

